

涸沢、北穂、奥穂山行

豊中労山 稲岡 哲也

2019年9月26日（木） - 9月28日（土）

9/26 6:00 上高地BT - 8:50 横尾 - 11:50 涸沢キャンプ場

9/27 5:50 涸沢キャンプ場 - 8:45 北穂高岳 - 11:30 涸沢岳 - 11:55 穂高岳山荘
- 13:00 奥穂高岳 - 14:10 穂高岳山荘 - 16:30 涸沢キャンプ場

9/28 6:50 涸沢キャンプ場 - (パノラマコース) - 9:00 屏風の耳 - 13:20 徳沢
- 15:30 小梨平キャンプ場

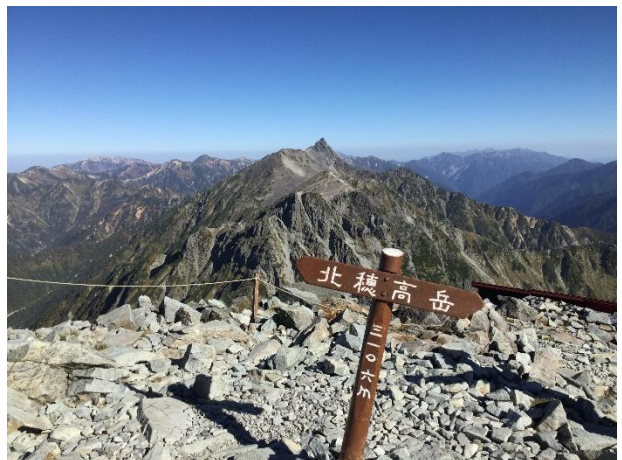
1日目、早朝、夜行バスで上高地バスターミナルに到着。ひたすら、涸沢を目指して歩く。6時間後に涸沢に到着。「一生に一度は見ておくべき。」と言われる涸沢の紅葉が本山行の主目的であった。しかし、今年は残暑のせいか例年より遅れているようで紅葉は2-3割程度。残念！涸沢のキャンプ場で偶然、豊中労山のHさん、Fさんご夫妻に出会った。何たる偶然。皆で涸沢ヒュッテの屋外テーブルで宴会。

2日目、まず、北穂高岳を目指す。標高差約800mの激坂を3時間程かけて登り、無事、山頂に到着。雲一つ無い快晴。槍ヶ岳を目の前に北アルプスの峰々、遠く南アルプスまで一望できる360度のパノラマを楽しんだ後、涸沢岳に続く尾根道を進む。切り立った崖、鎖場、梯子が続く難コース。2km程の距離を2時間以上かけて慎重に歩く。涸沢岳山頂からは奥穂高岳が間近に見える。穂高岳山荘で一服した後、奥穂高岳山頂を目指す。50分ほどで無事到着。山頂からは前穂高岳、西穂高岳に続く稜線、眼下には涸沢、上高地が一望できる。素晴らしい景色を堪能した後、涸沢まで降りる。涸沢ヒュッテ名物、おでんと生ビールセットで乾杯。

3日目は涸沢からパノラマコースを経て上高地まで下山。生憎の曇り空、ガスに包まれて涸沢カールが見渡せる屏風の鼻から穂高山頂付近は見渡せない。

小梨平で一泊した後、次の日は大正池まで歩き、バスで高山駅まで移動、途中、平湯温泉で一服した後、高山市内を観光、夕方のバスで帰阪。

紅葉は見られませんが、北穂、奥穂からの風景を堪能できました。



北穂高岳から、槍ヶ岳を望む